

第65次教育研究集会愛知大会に参加して

県教研に参加させていただき、読書を広げるための授業実践や図書委員会の活動の様子などを知ることができて大変勉強になりました。総合的な学習の時間におけるキャリア教育や福祉、郷土などをテーマにした学習では、子供たちに十分な図書資料が渡るように公共図書館との連携を図った実践の報告がなされました。岡崎市立中央図書館「りぶら」の団体貸出や授業支援用資料を有効に活用していきたいと感じました。

日頃から本に親しませること、辞書を引く習慣をつけること。それだけでも言葉の力が広がると助言の先生からお話をいただきました。今後、子供たちが少しでも多くの本に触れられるようにしていきたいと思います。
〈矢作西小 丹下 知佐子〉

県教研に参加させていただいて、他市での図書館教育の様子を知ることができ、勉強になりました。司書教諭が、図書活用の年間計画を作成した学校では、計画に基づいて単元を設定し、子どもたちが本を活用する機会を設けることで「探究的な学習のためのスキル」を身に付けているということです。

助言の先生からは、司書教諭が司書と読書活動の調整役を担うべきこと、良い本には力があるので、よい本と子供との出会いを作る実践を継続するようにとのお話を聞くことができました。今回得た情報を生かし、実践を重ねていきたいと思います。
〈宮崎小 松本 友子〉

実践報告

「生徒に今読んでほしい本は？」というタイトルで先生方にアンケートを取り、生徒に紹介をすることにしました。

冬休みを前に準備を終え、ようやくお披露目です。先生たちが学生のころ読んでいた本や、心に響く詩集などたくさんの本が並びました。普段あまり図書室に足の向かない生徒も、担任の先生や顧問の先生のおすすめの本に見入っていました。



おすすめの本を手にする生徒

これから、冬休みです。ぜひたくさん本に触れて欲しいです。

〈六ツ美中学校
河澄 祥代〉

おすすめの本

「ベストペンフレンド」(鈴木みどり 作)

冬の読み物として、今年、愛知県教育振興会から発行された本のひとつに収録されているお話です。もう、みなさんの手元に届いていますか。

手紙を通して始まった小学生と83歳のおばあさん(ハツさん)との物語。自分の弱さや悩みなど改めて考えました。読み終わり、等身大の自分で語り合える大切な人たちが頭をよぎりました。



【今後の主な予定】

- 1月上旬～下旬 第3回SLBA図書注文
- 1月上旬 「読書感想文・読書感想画優秀作品集」チラシ配布・予約
- 1月下旬 注文締め切り
- 2月5日 市読書感想文・読書感想画コンクール表彰式(第3回主任者会)
- 2月下旬 「読書感想文・読書感想画優秀作品集」発行

